

教校部「仏教学（唯識）」上野隆平

「唯識」（ゆいしき）とは、天親菩薩が大乗転向以後に傾倒した思想の内容――私たちが見たり聞いたりする物事は、すべて自らの心が現わし出したものに過ぎない――を表した言葉で、唯識を学ぶとは、概して天親菩薩やその兄・無著菩薩の著作を通して、大乗仏教の教理を学ぶことを意味しています。

講義では、まず唯識思想を確立したインド大乗仏教瑜伽行派の歴史について概説し、それが終わり次第、無著菩薩の主著で、大乗仏教の概説書として名高い『摂大乘論』の本文――本年は「無分別智」を主題とする第8章――を読んでいきたいと考えています。

講義で使用する資料は適宜配布する予定ですので、特定の教科書を購入していただく必要はありません。